



P&A NEWSLETTER

NPO法人 予防医学・代替医療振興協会 PUBLISHED BY SOCIETY OF PREVENTIVE & ALTERNATIVE MEDICINE

Mar2022

VOL.

67

本号にご執筆頂いた松原義泰先生、渡部晋三先生、いずれも高齢者ですが、毎日お元気で活躍されております。お二人とも代替医療の推進者であり、信念をもって、それを実践しております。現代医学の常識を破る突飛な言動のように思われる方もおられるかもしれませんが、実際には、これが現実であり、確かな結果を招来しているのです。否、寧ろ現代の最先端

医学を見直しつつ、「予防医学」と「代替医療」に改めて注目し、これを普及するための助走なのかもしれません。

P&A会員、並びに読者各位の更なるご健康と、ご発展をお祈り致します。本号を機に、各位の予防医学と代替医療の振興にお役立て頂ければ幸いです。

NPO法人 予防医学・代替医療振興協会

理事長・医学博士

神津 健一

「バイオジェニックス」の概念は、今では多くの方々に知られるようになりましたが、渡部先生はおよそ33年前から乳酸菌の代謝産物(乳酸菌生産物質=バイオジェニックス)と健康の関係を研究されてきました。また、ただバイオジェニックスを活用するだけでなく、「いかに微生物が働く状態」であるかどうかに関心を置かれ、発酵法や波動調整に注力されながら、あらゆるバイオジェニックス製品の開発に取り組まれています。

CAREER

KS西日本有限会社(乳酸菌生産物質製造)代表取締役。株式会社天狗堂(薬草染色メガネ開発)代表取締役。(社)認知症予防・改善医療団理事。日本催眠応用医学会理事。予防医学・代替医療振興協会理事。皇漢部医道師範。



渡部 晋三 先生

不眠症のあなたに朗報！
奇跡のバイオジェニックス波動染め

腸内フローラと バイオジェニックス

生命科学の専門分野によると、人間を構築している細胞数は約60兆個(最近では37兆個とも言われている)よりも、細菌(微生物)の数が10倍以上あると言われています。特に腸内細菌(腸内フローラとも呼ばれている)は食べた物を発酵して、善玉菌・2、悪玉菌・1、どちらつかずの日和見菌・7の割合の腸内環境をつくっています。そして、善玉菌より悪玉菌の方が増えますと体調が悪化します。また、日和見菌は多めに増える菌の方を優勢してしまう気まぐれな菌ですので、悪玉菌の方が増えないように腸内フローラのバランスをとる必要があります。そのバランスが乱れますと腸内での腐敗が進み、発がん性のある毒性物質まで生み出す可能性が高くなります。更に、幸せホルモンと言われているセロトニンの90%は腸内で作られており、「もちつ、もたれつ」の脳と腸の情報ネットワーク「脳腸相関」とも言われて脚光を浴びるようになりました。即ち、健康維持には腸内フローラのバランスをとったり、免疫

常在菌に働きかける 波動染め

力を高めたり、栄養素の消化吸収を助けたり、血液の質を高めたり、ホルモンのバランスと代謝機能を高め、自律神経の働きを活性化するなど、乳酸菌生産物質(バイオジェニックス)を摂ることによって、改善されることが明らかになってきました。

ところで、空間の一点に起った物理的状態が一定の速さで周囲に伝わる現象を「波動」と言います。最近、医療施設でも量子共鳴分析器を用いて毛髪検査で、生体の持つ極微少なエネルギー情報を分析・測定して、健康状態を診る仕組みが実践されています。(P&A理事長の神津先生が会長をしておられる医療法人社団・友会ナチュラルクリニックス代々木でも実践されています。)例えば、水に「ありがとう」と伝えると美しい結晶ができたり、ご飯に「憎しみの言葉」をかけると、カビの発生が早まったり、花に向かって「美しいね、綺麗だね！ありがとう」などと声をかけると、より美しく、長く咲き続けてくれます。

これは、身体に共存する微生物に対して話しかけても、その時に与えられた波動を敏感に受けとめて、発酵した有用物質を沢山作り出すか、腐敗したものになってしまいかは波動次第です。そこで、どのような波動があれば、微生物が



このバイオジェニックスの波動染めは、乳酸菌生産物質を繊維に染み込ませたもので、身体に共存する微生物に働きかけ、菌のバランスを整えるようにプログラムされ

活性化し、有用物を発酵してくれるかを探索し続けた結果、生まれたのが調和波動培養による乳酸菌生産物質(バイオジェニックス)です。

ているものです。バイオジェニックス波動染めをした衣類を着用したり、タオルを敷いて寝たり、首に巻いたり、枕の上に置くだけで、「熟眠できた」「睡眠薬が不要になった」「夜中にトイレに行く回数が減った」「気持ちが穏やかになった」など様々な変化を体感されている方々がほとんどです。眠りの質は、免疫力や疲労回復、ストレスの解消、交感神経のバランスの調整、美容などにも関わってきます。常在菌に働きかける波動染めは、睡眠障害のある方々の改善と健康維持に役立つのではないでしょう。既にこれを試して頂いた数多くの方々から、好評を頂いております。

検 体：KSバイオジェニックス 波動染め/①波動染め Tシャツ ②波動染め タオル ③未処理 タオル
測定形態：検体を測定用プレートに直接置いて測定
測 定 者：片岡 章 測 定 器：PRA-NK型(旧称:QRS) 測 定 日：2022年2月17,18日
(S+1=+100億)

No.	項目	code	①波動染め Tシャツ	②波動染め タオル	③未処理 タオル
1	恒常性維持力・免疫力	B222	S +67.9	S +68.1	S +49.2
2	交感神経	D140	S +67.1	S +67.9	S +51.9
3	副交感神経	D599	S +68.1	S +68.1	S +46.5
4	ホルモンバランス	C895	S +68.1	S +68.1	S +62.1
5	生体防衛力(広義の免疫)	X247	S +68.1	S +67.9	S +32.5
6	ストレス	E222	S +67.9	S +67.9	S +32.4
7	だるさ・倦怠・疲労	D823	S +68.1	S +67.9	S +17.1
8	冷え性	K274	S +68.1	S +68.1	S +46.2
9	アレルギー	G383	S +67.9	S +68.1	S +45.3
10	不眠症	D362	S +68.1	S +68.1	S +40.7
11	呼吸器系炎症	E782	S +67.9	S +67.9	S +35.8
12	腸内細菌叢	D325	S +68.1	S +68.1	S +14.9
13	便秘症	E387	S +67.9	S +67.9	S +22.3
14	泌尿器系	D297	S +67.8	S +67.9	S +46.4
15	子宮	D449	S +67.9	S +68.1	S +56.1
16	アトピー性皮膚炎	F919	S +68.1	S +68.1	S +65.9
17	肩凝り	O916	S +67.9	S +67.9	S +53.7
18	腰痛	I851	S +67.9	S +67.9	S +50.5
19	デルタ波	C773	S +68.1	S +67.9	S +50.1
20	幸福・愛	C493	S +68.1	S +68.1	S +64.7

私(85歳)は昨年、令和3年12月4日(土)午前7時30分頃、自分の畑で仕事中にコンクリートのU字溝に頭から倒れ込み、同居中の孫娘(29歳)に助けを求めた。枇杷にかかる日陰を防ぐために、3.5kgのチェンソーを右手に持って、斜度50度の土

師走に訪れた災難、 そして自己流の代替療法

元厚生省厚生事務官として努められていた松原先生は、現役中は薬務行政、麻薬取締行政、医薬品副作用被害救済等に携わっておられました。また、幼少期や戦時中の「自然のものを利用して疾病や怪我を治療する」ご経験は、過酷な状況下で生み出された自然療法でもあり、現代を生きる私たちにも多くの知恵を与えて下さいます。そして現在は、国民の健康寿命を延伸すべく、主に高齢者を対象とした普及活動に尽力されています。

CAREER

(社)認知症予防・改善医療団理事長。ポーケンサークル(高齢者の健康増進を目指す房州健康友の会)代表。元厚生省(現厚生労働省)厚生事務官。国際自然医学会名誉会員。エステティック学院教授。予防医学・代替医療振興協会学術委員。



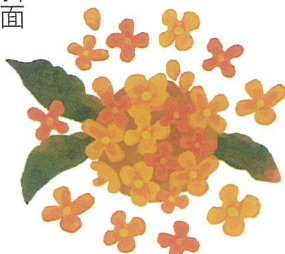
松原 義泰 先生

超抗酸化応急処置法の実践

手の根元にある背丈8mに伸びた金木犀の大木を上から切り落としていた。丁度、中ほどを過ぎた上から1.5m、下から1.8mの所で、斜面に三脚梯子を立てかけて、その上に乗って直径23cmの丸太を、南方向に倒すために北側から切っていた。丸太はゆっくりと南方向に倒れるように見えたが、枝ぶりの関係か、少しばかり三脚梯子に寄りかかっていた。私は急いで回転中のチェンソーのスイッチを切ったが、三脚梯子もろとも転倒し、傾斜角10度のU字溝(外径25cm・内径18cm・深さ17cm)に頭から落ちてはまり込んだ。工事用のヘルメットを着用していた頭は無事だったが、右頸椎・右肩・右肋骨・左尾髄骨下から3段まで・右膝に相当の打撲損傷があったらしい。しばらく、意識朦朧として青空と枇杷の木を眺めていたが、意識が鮮明になると共に起き上がろうとした。しかし、体がピクリとも動かない。止む無く大きな声を出して幾度となく孫娘を呼んだ。

5分ほどしてサンダルを履いた孫娘が助けに来て、手を引いてくれたが動かない。両手で力一杯引いて、ようやくU字溝から私を引き起こし、両手両膝を斜面の下向きに着くことができた。全身に力が入らず、歩行困難のようだから、杖2本を持ってきた。きてもらって、ようやく家に入ることができた。

「応急処置を頼む」と孫娘に言ったが、孫娘は既に湿布用のジャガイモを蒸かしている。私は、「超抗酸化生活」を考えていたので、迷わずにヨーグルトに木炭粉・燐炭粉・松葉エキスを大さじ一杯ずつ加えて攪拌し、これをコップ一杯、一気に飲み干してから、恒例の三点セットを飲んだ。三点セットとは、K・リゾレシチン(神経情報伝達物質)・糖鎖(全細胞のパラパラアンテナ)・乳



酸菌生産物質(壊死細胞の急速排泄促進)である。食事は、無農薬選米落ち玄米ご飯に海苔・生卵・胡麻塩、具のない味噌汁、15種類以上の野菜を備長炭で漬けた漬物。お茶は、孫娘に頼んで石垣に生えているヨモギ・スカンポ・オオバコ・ドクダミ・ペパーミントに番茶・杜仲茶・生姜・松葉エキス・山桃葉・椿葉を加えてやかんで煮出してもらい、布団に湯たんぽを入れて寝込んだ。

30分もすると、孫娘の手作りの湿布ができ、日本手ぬぐいに2cmの厚さに伸ばしたジャガイモを打撲損傷部位に粘着テープで貼り付けて、応急処置完了。明けて5日前4時(応急処置から20時間後)には痛みが半減して、6日にはほぼ激痛は消滅した。7日には杖無しでトイレに行けたので、反省の思いを込めて畑の転倒現場の視察に出た。8日は、故障部位が完治したようなので、2km先の道の駅までお歳暮の買い出しに出た。9日は、同封する手紙をパソコンで打った。10日は、お歳暮の発送、煤払いの準備等、通常通りの生活に戻って紅白歌合戦・初詣を迎えて今日に至る。

お役所時代の仲間が「病院に行け」「医者に診てもらえ」等と親身になって意見をくれたが、全て有難く聞き置くことにして、我流・自己流の手当で凌いだ。



戦時中の知恵と 自然治癒力

もしも、救急車を呼び、入院加療リハビリを信じて実行していたら、この作文が公表された今でも病院に軟禁されていたことと思う。

それと言うのも、私は、脳梗塞・脳血栓で、意識不明で昏倒したこと9回、目を見

開いたまま足元から崩れて倒れたこと27回で、未だに検査治療は受けていないが、今尚、自己流の治療だけで後遺症もなく、記憶力も身近にいる高齢者仲間の中では群を抜いているという。

私が6歳の時、父親から受けた指導と、8歳の時の日ソ両軍の市街戦を体験すると、最新の親切丁寧な検査や治療よりも、瞬時に応急処置をする方が、私には、即効性がある完治が早いことを体が覚えている。

支那事変に野砲隊で参戦した父は、敵砲弾の破片で顔を斜めに切り、薬の欠乏から、馬につけるヨードチンキを塗って治した。「この薬を塗ると怪我をした馬が走り出す」と父が笑う。その父が左記の12項目

- 1 痛くて死んだ人はいない
- 2 痛くない時は重篤だ
- 3 手当は即座に間髪を入れずにやれ
- 4 薬は身の回りの草を噛んで唾液で作れ
- 5 釘を踏み抜いたら金槌で叩け
- 6 血が出る怪我なら塩をつけて縛れ
- 7 殺菌消毒なら湯呑み茶碗の残りのお茶で洗え
- 8 手当が遅れたら、治るまでに遅れた時間の5倍以上の時間がかかる
- 9 医者が出す薬は体が弱っている人には毒だ
- 10 病気なら気の病だから、お粥を食べて安静休養が一番
- 11 医者に行くのは恥と思え
- 12 怪我と病は自作と思え

おすすめ書籍のご案内

大丈夫。あなたは必ず治る

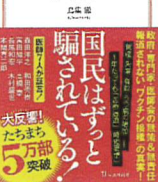


大丈夫。あなたは必ず治る

著者：於保哲外(医師) 出版：素朴社

「心の病が治るとは新しい自分が生まれてくるということである」と語る著者。どこまでも一人の患者に寄り添い、回復を信じる臨床姿勢を貫くドクター・オボの根本療法が、病を克服した人たちの記録によって明らかになっています。

コロナ自肅の大罪



コロナ自肅の大罪

著者：鳥集徹(ジャーナリスト) 出版：宝島社

政府、自治体、医師会等による新型コロナウイルス自肅政策に疑義を呈する医師7人へのインタビュー集。7人の意見には相違もあるが、過度な自肅要請を繰り返すべきではないという認識では全員が一致している。「日本コロナ」の不都合な真実。